

自治基本条例（仮称）に関する懇談会 傍聴者アンケート

第18回実施分（平成30年1月17日開催） 自由記載欄

○ 今回の懇談会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

・「市民参加」の手法を考える時、近年、政治学の分野において議論が積み重ねられている Deliberative Democracy の発想が必要になってくるのではないかと思います。議会基本条例で扱うのか否かはっきりしませんが、SNS・インターネットを活用する新たな手法の開発導入の可能性を担保しておくべきと考えます。

・「平和」についての議論が印象に残った。個々人が平和を希念しても、現実に関わりつづけるには(運動として)自治体外交とか市民からの”持続可能“な社会(世界)にする運動がなければ、文言だけに終わってしまう。「情報公開」を行政に任せてしまうことの“恐しさ”(都合の良いものを選んで公開してしまう等)の発言も印象に残った。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

・議論を拝聴しながら、市民が「次世代及び市の将来」を考えることは「歴史および受けつがれてきた文化」を理解し尊重することでもあるのだな…と感じました。「まちづくり条例」「景観条例」などそのような観点からその意義を見出すことができるのではないのでしょうか？

・意見交換会—「傍聴」もあるのですか？(情報公開があるので) まあ「傍聴」だけしても仕方ないとは思いますが…。「意見交換会」が”形式的“にならないようにしてほしい。

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)